

要請番号（JL02418B15）

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	A101 コミュニティ開発		個別	新規	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

産業商業省

2) 配属機関名（日本語）

セコン県産業商業局

3) 任地（セコン県ラマム郡） JICA事務所の所在地（ビエンチャン特別市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（飛行機+バスで 約 3.5 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

南部セコン県内の産業振興を統括する組織で、中小企業や商店の登記に関わる行政手続きを主に実施している。製品販促課、国内商業登録課、工業工芸課、輸出入管理課、統計課など8部門から構成されている。職員数は約50名。県ならびに県内各郡支局の人件費を含めた年間予算は約500万円。2012-2015年にかけて、セコン県を含む中南部5県を対象に、JICAの草の根技術協力事業「南部ラオスにおける地域モデルによる一村一品推進プロジェクト」が実施された。2009-2011年まで、村落普及員(現・コミュニティ開発)隊員が活動を行っていた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2000年代後半に政府によって制度化された地域特産品の一村一品(=ODOP)認証制度は、その地域で生産される原料を使用するなど、認証されるにはいくつかの条件がある。各県の産業商業局が認証業務にあたるとともに、生産者に対して品質改善等の助言を行っている。前述したJICA草の根技協の支援を受けたセコン県ではあるが、ODOP登録商品は現時点で1品目に過ぎず、布製品、竹&藤製品、木工品が登録候補にあがっており、数年内の登録を目指している状況である。いずれの商品もデザイン、パッケージング、品質管理の点で課題が多いことから、これらの改善を通じてODOP認証登録を促すとともに、魅力的な商品開発/改良を行うことで販路拡大へと繋げていきたい。以上の目的から、青年海外協力隊の派遣が要請された。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1. 県の特産品について現状調査を行い、デザインを含む品質改善に向けた助言、新商品開発の提案を行う。
2. 県の産業振興のため物産をどうPRできるか考え、販促広報に結び付けるための活動を行う。
3. 新規市場(国内、海外が対象だが、まずは近隣地域)の開拓並びに市場調査を行う。
4. 他県派遣のコミュニティ開発ボランティアと情報交換を行い、必要に応じて生産者同士の技術交換会等を行う(オプションの活動)。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務机。提供頻度は多くないが、地方郡部へ出張する際は配属先車両が利用できることもあり。

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・ 製品販促課 副課長 (主要カウンターパート、男性、30代、経験8年、大卒)
- ・ 他、製品販促課同僚4名(男女、20-50代、経験2-30年、学士等)

5) 活動使用言語

ラオ語

6) 生活使用言語

ラオ語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

- ・フィールド/市場調査、販売促進等の経験

任地での乗物利用の必要性

単車(小型自動二輪免許が必要)

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（15～40℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】